



未来を夢見て

2020/7/17 No. 23

昔を今にⅡ 宮床中学校区児童生徒健全育成会議に参加して

7月11日（金）。宮床中学校区児童生徒健全育成会議が宮床基幹集落センターで行われました。学校からは西條先生（生徒指導担当）にも参加していただきました。

まず、驚いたのがセンター内に掲額してある肖像画。宮床地区に長い歴史があることは承知しておりましたが、歴代の村長さんの肖像画にしばし、息を飲み込みました。この肖像画だけでも一見の価値あり、歴史好きの私には大変興味がそそられる空間でした。

冒頭協議会の会長でもある宮床中学校の本田校長先生から、「紙面決議も考えましたが、顔を合わせることも大事と考えお集まりいただきました」との主旨説明があり、その後決算報告や予算報告の承認に続いて、情報交換が行われました。その情報交換で出た御意見の一部を紹介します。

- ・農業用のため池があるので子供たちに危険であることを知らせてほしい。
- ・昨年度まで小野小学校に関わっていたが、今年からなくなったことがとても残念です。
- ・朝、通学時に走る子供がいて危険です。また、もっと子供たちの挨拶が徹底できるとよいですね。

この他にも娘さんやお孫さんが小野小学校に通っている方々もいらっしやって、改めて学校が地域の皆様に支えていただいていることが分かりました。今はどうしても三密回避が優先されますが、実際に会ってお話すると、資料にはない行間の思いや、言葉の温度や表現のニュアンスが伝わってきてとても参考になる会でした。来週から時間を見付けて広く学区を歩いてみたいと改めて思いました。

会議後、早速危険箇所が気になったので、島貫先生の白いスポーツカーに乗せていただいて、小野地区の危険箇所を確認しました（20日発行の学校便りで紹介されます）。

また、挨拶については、子供たちに頭ごなしに指導するのではなく、時間はかかっても「相手の目を見て挨拶できる子」に育てたいと思い、朝の交通指導の時間を活用して、できるだけ一人一人と目をつなぐことを心掛け私からまず実践しています。だんだん目と目をつないで挨拶を交わすことができる子供たちが多くなってきて、心がつながったようでとても嬉しく思っています。

さて、冒頭の会議。会議が終わって、会場は事務局でもある宮床中学校の職員の皆様が片付けに入りました。その中には本校の西條先生の姿も見られました。だれからも頼まれていないのに、当たり前のように片付けに取り組んでいる姿に嬉しくなりました。西條先生の姿は今の小野小学校の教職員の姿を象徴しているように思えました。

写真一番下は今年度初めて行われた13日（月）の6年生の学年集会の様子です。学年集会では、友達との接し方や家庭での時間の過ごし方などのお話がありました。背筋を伸ばしてしっかり聞いている姿に6年生としての自覚が表れているように感じました。

6年生の皆さんには、担任でもある西條先生の背中から教えていただくことたくさんあることに違いない、と感じた一時でした。

（文責：手代木）

